



タル船舶ノ檢疫成蹟ヲ参照スルモ患者上陸ノ疑ヒ更ニ之レアルナシ惟フニ海外有病地ヨリ病毒ニ汚染シタル物件ノ陸揚又ハ貨物ト共ニ有菌鼠ノ上陸スルアリテ該地域鼠族間ニ先ツ流行ヲ呈スルニ至リタルモノナルヘシト(大日本私立衛生會雜誌ヨリ摘録)

本期病毒侵入ノ媒介物ニ就テ一部ノ説明者ハ三十五年八月二日入港ノ「オーストリアン」號ニ依リ輸入シタル上海棉花ヲ貯藏セシ松下回漕店倉庫内ニ「ペスト」鼠ヲ發見シ患者ハ之レニ隣接セルヲ以テ病毒ハ同棉花ニ基因スト論スト雖モ恐クハ該棉花輸入以前既ニ業ニ病毒カ某物件ニ附着セルカ又ハ病鼠カ貨物ト共ニ陸揚セラレタルモノナラン何トナレハ當時遮斷區域内ニ於テ發見セル斃鼠五十五頭中乾固シテ全然鏡檢シ能ハサルモノ多數ニシテ其鏡檢シ得テ「ペスト」鼠ノ決定ヲ與ヘタルモノ僅カニ六頭捕鼠ニ於テ二頭合計八頭ニ過キサリキ而シテ茲ニ最モ注意ヲ要スヘキハ乾固シテ鏡檢シ得サリシ多數ノ斃鼠ナリトス是レ果シテ無菌ノモノ、ミナリヤ否ヤ惟フニ彼ノ遮斷區域ハ病毒伏在セシ場所トシテ已ニ認定セラレアル以上少クトモ其鏡檢ニ不適當ナリシ斃鼠中ニハ病毒ニ侵襲セラレシ結果斃死セシモノアリシコトヲ推測スルモ必スシモ失常ニアラサルヘシ果シテ然ランニハ斃鼠ノ乾固スルマテニ幾何ノ時日ヲ要スヘキカヲ解決スルハ蓋シ一大要件タルヘシ抑モ鼠族斃死シテ乾固スルマテニ要スヘキ時日ノ長短ハ主トシテ死鼠ノ存在セル場所及ヒ其當時ノ氣温等ニ關スルヲ以テ此ノ必須條件ヲ無視シテ之ヲ論定スルノ不可能ナルヤ勿論ナルモ之ヲ從來ノ經驗ニ徵スルニ若シ夏期ニ際シ其死鼠ニシテ不燃性建造物(煉瓦石等)ニテ建設セラレタル倉庫ノ如キモノヲ云フ)内ニ存スル場合ニ於テハ大略二ヶ月以上ヲ要スヘキモノト推定スルモ敢テ大過ナカルヘキナリ今此例ヲ以テ推算スルトキハ病毒ノ一部鼠族間ニ傳播セシハ少クモ八月初旬ナラサルヘカラス然シテ更ニ鼠族ト「ペスト」患者トノ關係ニ就テ山極博士カ臺灣ニ於テ調査セシ所ニ據レハ本病ノ鼠族間ニ流行シ之レヨリ人類ニ傳染スルマテニハ其間約二、三ヶ月ヲ要スト之レヲ以テ考フルモ第一患者發病ハ九月二十九日ナルヲ以テ第一回流行時ニ於ケル病毒侵入ハ六、七月頃ト推測スルヲ以テ最モ當ヲ得タルモノ、如シ既ニ病毒カ三十五年六、七月頃侵入セシモノト推測シ得ルニ於テハ其病毒カ如何ナル物件ニ附着シテ輸入サレ

シカ此問題ヲ解決スヘキ有力ノ資料トシテ「ペスト」病毒ト密接ノ關係アリトシテ知ラレタル陸揚貨物ヲ示スコト上表ノ如シ

更ニ上記ノ諸港ニ於ケル當時ノ「ペスト」病況ヲ見ルニ香港ニ於テハ五月中患者百四十名死亡百三十五名六月百三十二名死亡百二十三名又孟買ニ於テハ四月中死亡二千六百二十二名五月中死亡千八百八十九名六月中同三百七十三名ヲ出シ其他印度及麻尼拉等ニ於テモ本病ノ流行アリキ前記種々ノ關係ヨリ第一回ノ流行病毒ハ恐クハ明治三十五年六月十五日入港ノ上海號若クハ同月二十六日入港ノ「マラッカ」號ナルカ然ラスンハ七月十三日入港ノ孟買號ニ依リ輸入セラレタル貨物ニ附着シテ侵入セシモノナルカ又ハ是等ノ船舶ニヨリテ數次ニ侵入シタルモノナラン

第二回流行

第二回ノ流行ハ三十六年五月十四日横濱市西戸部町ニ於テ初發患者村松善一ヲ出セシ以降或ハ戸部町ニ或ハ三吉町ニ松影町ニ根岸町ニ將夕神奈川町等ノ各方面ニ陸續トシテ患者ノ發生ヲ見ルニ至リ遂ニ十一月二十二日三吉町鈴木又吉ヲ以テ最終患者トシテ再ヒ其終熄ヲ告ケタリ此間ニ發生セル患者ニ就テ其病系ヲ調査スルニ明治三十六年ハ病毒ノ輸入頻々トシテ相踵キ之レニ加フルニ同三十五年海岸通ニ於テ流行セシ病毒ノ尙殘存セルモノ等アルニ依リ其系統頗ル複雑ヲ極ムト雖モ要スルニ左ノ如ク論スルコトヲ得ン乎

(A)、第一回流行時ト同一病系  
(B)、新輸入ノ病系

新輸入ノ病系ヲ更ニ次ノ如ク區別スルコトヲ得

一 神奈川方面ニ於ケル病系

二 松影町吉濱町方面ニ於ケル病系

附タリ根岸町字麥田方面ノ病系

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系





第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

「ペスト」鼠	五月二十五日	翁町五丁目	消毒所構内
同	同 二十六日	伊勢町三丁目五十二番地	小林正太郎方
同	同 二十八日	戸部町四丁目百二十二番地	鳥井鐵五郎方
同	同 二十九日	同 町二丁目	道路ニ於テ
同	同 二十九日	元濱町二丁目十二番地	狩野定吉裏空家
同	同 日	西戸部町	鞍止阪ニ於テ
同	同 日	三吉町一丁目八番地	小島卯三郎方
同	同 三十日	元濱町二丁目十二番地	藤田良助方
同	同 日	伊勢町三丁目五十七番地	染谷松藏方
同	六月一日	西戸部町千九百九番地	岸清三郎方
同	同 日	元濱町二丁目十二番地	藤田良助方
同	同 日	同	笹野商店内
同	同 二日	同	第二岩澤屋方
同	同 三日	三吉町四丁目	道路ニ於テ
同	同 四日	尾上町四丁目	山口松太郎
「ペスト」鼠	同 六日	三吉町一丁目二番地	塵芥箱内
「ペスト」鼠	同 八日	戸部町三丁目	共同塵芥箱内
同	同 九日	伊勢町三丁目六十九番地	道路ニ於テ
同	同 十日	扇町三丁目百二十九番地	小山セキ
同	同 十三日	西戸部町千六番地	近藤マス
同	同 十六日	千歳町一丁目十二番地	金子丹次郎方
同	同 十八日	同	

同	同 二十日	同 二丁目十三番地	空家ニ於テ
患者	六月二十二日	西戸部町千六番地	石村ソノ
「ペスト」鼠	七月二日	吉濱町十番地	鈴木キン方
同	同 十一日	長島町三丁目二十七番地	高橋傳之助方
同	同 十三日	蓬萊町三丁目十三番地	共同塵芥箱内
患者	同 二十日	南太田町千九百八十二番地	鈴木榮吉
同	同 日	西戸部町八百二番地	安田キン
同	同 二十一日	中村町千三百四十七番地	福田一男
同	八月二日	北方町八百四十四番地	田中イネ
同	十一月廿二日	三吉町二丁目十七番地	鈴木又吉

(疑似症)

前表ニ依ルトキハ各「ペスト」鼠間及「ペスト」鼠ト患者トノ發見日時ニ於テ或ハ連絡絶ヘタルカ如キ觀アルモ之レ必ラスシモ其間關係ノ絶縁セルニアラスシテ其當時買収セル鼠族中多數ノモノハ鏡檢ヲ經スシテ燒却セラレタルヲ以テ偶々表中斯ノ如キ缺陷ヲ生セシモノナルヘシ若全部ノ檢査ヲ施行シ得タランニハ恐クハ其連絡ノ狀愈々明瞭タリシモノアリシナラン乎想フテ茲ニ至レハ三十五年ノ病毒ノ遺殘ヲ肯定シ得ルナルヘシ

(B) 新輸入ノ病系

一 神奈川方面ニ於ケル病系

此方面ニ於ケル病系ニ就テハ三十五年十月六日日本病ノ爲メ死亡セル持丸彌吉(海岸通五丁目ニテ感染シ神奈川方面ニテ死亡シタルモノ)ノ系統トハ全然關係ナクシテ新タニ本地ニ病毒ヲ輸入セリト見做スヲ至當トス而シテ之レカ媒介ヲナセシモノハ恐クハ船塵ニ因スルモノナルヘシ後記ノ事實ハ之レカ推定ヲ證明シテ餘リアリ抑モ本縣ニ於テハ曩キニ神戸葺合村ニ發生セシ「ペスト」患者ノ病系カ船塵ニ基因セルニ鑑ミ去ル明治三十二年

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

十一月二十日縣令ヲ以テ特ニ船塵陸揚ヲ禁止セリ然ルニ從來橫濱市ニ於ケル該營業者ヲ調査セシニ其重ナルモノハ海岸通五丁目二十番地船塵合資會社花咲町十丁目十九番地宇野久米七、龜ノ橋際高木三之助、神奈川町百三十三番地飯田國藏及同町百三十四番地飯田三次郎ノ五名ニシテ船塵合資會社及ヒ宇野久米七ノ兩名ハ其事務所ヲ前記ノ番地ニ置キ塵芥揚場ハ共ニ平沼町石崎橋附近ニ設置シ孰レモ營業ニ從事セシト雖モ前記縣令ノ發布ト共ニ其取扱フ所ノモノハ總テ單純ナル石炭灰ノミナルニ反シ神奈川町飯田國藏、飯田三次郎ノ兩名ニ至テハ船塵陸揚地域カ自宅前面ノ海岸ナルヲ奇貨トシ密カニ日本郵船會社々船ノ船塵ヲ陸揚シツ、アリキ而シテ彼等カ取扱フ船塵ナルモノハ船舶入港シテ貨物ノ陸揚後船底ノ掃除ニヨリ出テタル當然投棄スヘキモノ、總稱ニシテ其主ナルモノハ石炭ノ焚壳、セメント、木片、竹片、肥料、屑棉花、帆布片及ヒ穀類ノ混合物ナリ此船塵ハ常ニ前記海岸ニ陸揚セラレ同所ニ於テ其内ヨリ有價物ト撰擇シ無價物ハ現場ニテ燒却シ有價物ハ該地域ノ一隅ニ約四坪ノ納屋ヲ設ケ總テ此内ニ堆積貯藏シ需用者アルニ從ツテ他ニ賣却シツ、アリシモノナリ如上ノ事實ハ明カニ此方面ノ病毒カ船塵ト密接ノ關係ヲ有スルモノナルハ何人モ敢テ異議ナカルヘシト信ス若假リニ或ハ難スルニ此方面ニ於ケル初發患者山崎留吉ノ發病前曾テ「ペスト」鼠ノ發現モナク突然患者發生シ加之病毒ニ最モ關係ヲ有スル飯田等カ所有塵芥揚場ニ於テ消毒の清潔法施行ノ際一頭ノ斃鼠タモ發見セサリシヲ以テ其系路ヲ船塵ニ歸スルノ不當ナルヲ唱フルモノナキニアラサルヘキモ當時同方面ニ於テ專ラ風説スル所ニヨレハ飯田所有ノ納屋ヨリ多數ノ斃鼠ヲ發見セシガ家人密カニ燒棄セシト云フヲ以テ單ニ表面上知得セル斃鼠若クハ「ペスト」鼠ノ有無ニ依テノミ遽カニ這般ノ關係ヲ否定スル能ハサルヘシ殊ニ罹病者中加山金藏同トシノ父林藏及加山信太郎ノ父與助木村アキノ夫森藏ノ如キハ孰レモ船塵ノ陸揚或ハ物品撰り別ケノ際常ニ飯田方ノ勞役ニ從事セシト云フノ一事ハ特ニ論者ノ注目ヲ要スル所ナルヘシ

前記ノ如ク當方面ノ病系ヲ船塵ニ歸スルトセハ其病毒ハ何レノ船舶ニ依テ輸入セラレタルモノナルヘキカ此疑問ヲ明カニセンガタメ三十六年中營業者カ取扱タル船舶ノ調査ヲ企圖シタルモ彼等ノ言辭曖昧ニシテ遂ニ其事跡ヲ審カニスルコト能ハス從ツテ病毒侵入ノ時期モ亦容易ニ判定シ難シ

二 松影町吉濱町方面ニ於ケル病系附タリ根岸町字麥田方面ノ病系

此方面ニ於ケル病系ノ系統ニ關シテハ各其認ムル所ニヨリ其意見ヲ異ニス即チ某氏ノ如キハ論シテ曰ク「三十年以降患者ノ再發ヲ來シタルハ他ニ系統ヲ求ムルヲ要セス殆ント總テ當該地域鼠族間ノ流行ニ基因シタルモノナリ即チ戸部、西戸部、浦島町並ニ松影町、吉濱町ノ如キハ如何ニ病毒ノ鼠族間ニ蔓延シツ、アリタルカヲ窺フニ足ルヘシ」ト此ノ如ク第二回流行時ニ於ケル病系ヲ擧ケテ之レヲ前年ノ殘毒ニ歸セリ更ニ他ノ論者ハ曰ク松影町、吉濱町流行地域ノ附近ニ於テ船舶ノ業務ニ從事セル勞働者多數居住セシカ故ニ彼等カ船舶ニテ作業中病毒ハ衣服或ハ其他ノ物品ニ附着シ終業後是レ等ノ汚染セラレタル物品ヲ自家ニ携帶セシニ基因セシモノナルヘシト、然レトモ假リニ此論者ノ如ク勞働者カ病毒ニ汚染シタル或物件ヲ携帶セリト推定セムカ病毒カ鼠族間ニ傳播スル前既ニ先ツ彼等勞働者ニ感染セザルベカラス何ゾ必ラスシモ鼠族間ノ流行ヲ俟タン何トナレハ此ノ如キ場合ニハ彼等勞働者ノ生活狀態ヨリ觀察シテ病毒ニ接觸スルノ機會ハ却テ鼠族ノ夫レニ接觸スルヨリハ尙ホ多クノ好機ヲ有スレバナリ

本縣ノ調査セル所ニ依レハ松影町、吉濱町方面ニ於ケル系路ハ外國米ニ一大關係ヲ有スルモノ、如シ之レ單ニ一米商ノ倉庫内數十頭ノ「ペスト」鼠ヲ發見セシ事實ノミヲ以テ論定スルニアラス實ニ當年外國米ノ入荷ハ例年ニ比シ其量ノ非常ナル増加ト其米ヲ搭載セシ船舶ハ海外有病地ヲ經由セルト加之本年ニ於ケル「ペスト」患者ハ其職業カ米穀ト不尠關係ヲ有スルノ事實アレバナリ

茲ニ本病系ノ外國米ニ因スト推定セル理由ハ「ペスト」患者根岸町三千八百四十五番地米穀營業者青木傳七方ニ於テハ曾テ病毒汚染ノ疑ヒアル物件ヲ取扱ヒタルコトナク且ツ同所ハ橫濱市東南隅ニ位シ從來ノ流行地域トハ大ニ遠隔シ加フルニ其附近ヨリ「ペスト」鼠ヲ發見セシコトナキニモ拘ハラズ突然六月十五日傳七ノ家族青木昌次郎並ニ雇人近藤カネノ發病ヲ見ルニ至リ越ヘテ同月二十日遮斷消毒ノ際獨リ同家ヨリ數十頭ノ怪シムヘキ斃鼠ヲ發見セシカ如キ病毒侵入ノ徑路ヲ外國米ニ求メスシテ之ヲ他ニ求ムル能ハス又松影町一丁目三十七番地米穀商黒部與八方ニ於テハ十月十日消毒の清潔法施行ノ際斃鼠七十七頭内「ペスト」鼠十一頭ヲ發見セシカ如キ是

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

亦明カニ其系路ヲ米穀ニ歸スルニ足ルヘシ蓋シ穀類ヲ貯藏スル場所ハ常ニ鼠族ノ來集ヲ招クカ故ニ一朝其附近ニ「ペスト」病流行スルコトアラハ如此場所ニ於テ多數ノ斃鼠若ハ「ペスト」鼠ヲ發見スル固ヨリ當然ノ事ニシテ從ツテ斃鼠ノ多寡ニヨリ溢リニ米穀ヲ以テ病毒ノ媒介物ト推定スルハ或ハ穩當ニアラサルカ如シト雖モ下記ノ事實ヲ參照スルトキハ又異議ヲ挾ムノ餘地ヲ有セサルヘシ即チ本年神奈川方面ニ於テ「ペスト」病流行ニ際シ米穀商加山徳次郎方ハ外國米ヲ販賣スルノ點ニ於テ及ヒ「ペスト」患者ト土地接近スルノ點ニ於テ松影町ニ於ケル黒部與八ノ關係ト頗ル酷似セル者アリ故ニ兩者ヲ對照スルニ

(甲) 浦島町ニ於ケル初發「ペスト」患者ハ八月二十八日ニシテ加山徳次郎ノ消毒的清潔法ハ十一月十一日ニ施行セラレタリ此日數前後七十八日ノ間ニ其附近ニ「ペスト」患者十二名ヲ發生ス

加山徳次郎方ノ大清潔法施行ニ際シ斃鼠僅カニ二頭ヲ發見シ鏡檢ノ結果何レモ「ペスト」鼠ト決定ス

(乙) 松影町ニ於ケル初發「ペスト」患者ハ九月四日ニシテ黒部與八方ノ消毒的清潔法ハ同月九日ニ施行セラレ

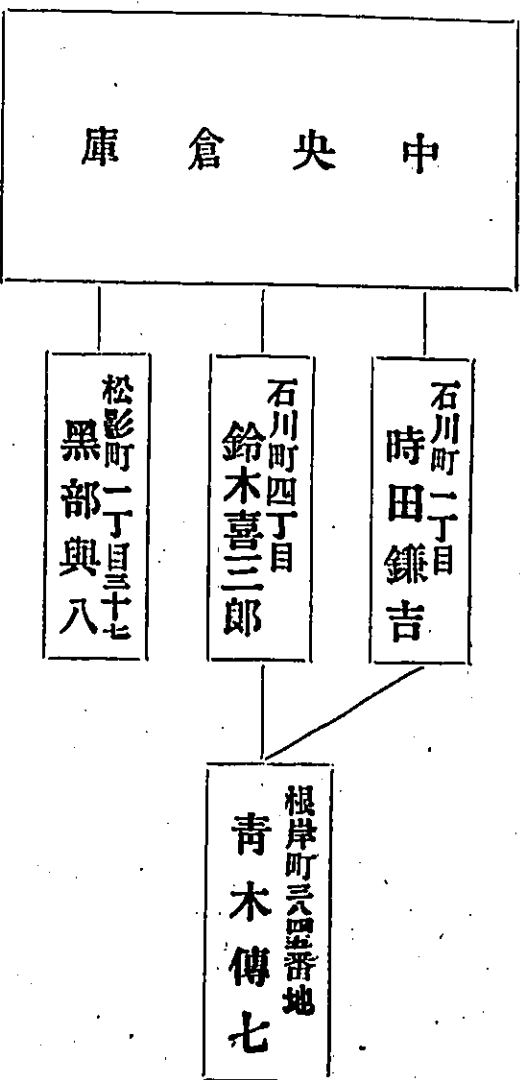
此日數前後一週日ノ間ニ其附近ヨリ六名ノ患者ヲ發生ス

黒部與八方ノ消毒的清潔法施行ノ際斃鼠七十七頭ヲ發見シ内「ペスト」鼠十一頭乾固或ハ腐敗ニヨリ鏡檢シ能ハサリシモノ四十七頭

如斯甲乙兩者ノ現象全然相反セルハ(甲)ニアリテハ病毒ハ外部ヨリ侵入セルニ反シ(乙)ニアリテハ自家ノ外國米カ直接其媒介ヲナセシコトヲ表明スルニ足ル

夫レ或ハ然ラン乎然レトモ至細ニ兩者ノ家屋及店舖ノ狀況並ニ附近民家ノ生活狀態ヲ觀察スルトキハ單ニ患者及「ペスト」鼠數ノ比例ノミヲ以テ病毒襲來ノ根源ヲ異ニセルモノト斷定スヘカラス寧ロ共ニ外國米ヲ取扱ヘル狀況ヨリ觀察シテ其徑路ノ同一ナルヲ推定スルノ至當ナルヲ見ル願フニ兩者間或ハ病毒汚染ノ時ヲ異ニシ若ハ其毒力ニ強弱アリシモノナルヘキカ

上記米商ニテ販賣セル外國米ト「ペスト」ノ關係ヲ一層的確ナラシムルタメ青木傳七及黒部與八方ニ於テ販賣セル外國米ノ取引先ヲ調査セルニ孰レモ中央倉庫ヨリ搬出セルモノニシテ其關係次ノ如シ



以上ノ如ク中央倉庫ハ當方面「ペスト」病毒ト不尠關係ヲ有スルヲ以テ同倉庫カ去ル三十五年同三十六年中取扱ヒタル入貨ヲ調査セルニ三十五年中外國米ノ入庫ハ三十四万四千二百九十七袋其他ニ於テ六万八千二百五個ニ對シ三十六年ハ一月一日以降十二月四日マテニ米ニ於テ九十五万八千四百九十二袋其他ニ於テ八十二万八千七百四十四個ニシテ三十六年ハ前年ニ比シ米ニ於テ六十一万四千九百九十五袋其他ニ於テ七十六万五千三百九十九個ノ増加ヲ見ル而シテ如上ノ貨物ヲ運輸スル船舶ハ歐洲濠州若ハ印度方面ヲ航行スルモノニシテ其他臺灣ヨリ入港スル等殆ント海外有病地ヲ經由セサルモノナギニ至テハ誰カ中央倉庫ヲ以テ「ペスト」病ニ對シ危險ナル位置ニアラスト云フヲ得ヘキ乎更ニ中央倉庫ニ於ケル鼠族驅除ノ成績ヲ見ルニ横濱市ニ「ペスト」病患者發生以來三十六年未迄一ケ年間ニ届出タル數ハ捕鼠四頭斃鼠二十八頭合計三十二頭ニ過キス而シテ右ノ鼠族中鏡檢ニ不適當ノモノ(乾固若ハ腐敗ニヨリ)二十六頭鏡檢ヲ經タルモノ六頭ニシテ其結果孰レモ陰性ニ終リシモ如此少數ノ検査ニ據リ未タ輕々シク同倉庫内ニ病毒ノ有無ヲ明言スルコト能ハスト雖モ該倉庫ハ一萬餘ノ建坪ヲ有シ有病地若ハ該地方ヲ經由シテ米穀、棉花、砂糖、肥料、其他ニ於テ一ケ年無慮二百七十四萬五千七百二十八個ノ輸入貨物ヲ吸收スルニ係ハラス一年餘日ニ涉リ僅カニ三十二頭ノ鼠族ヲ驅除セリト云フニ至ツテハ是亦頗ル注意ヲ要スヘキ價値アルカ如シ

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

五十

上來論セルカ如ク種々ノ關係上松影町吉濱町及ヒ根岸町字麥田ニ於ケル「ペスト」病系ハ外國又ハ臺灣ヨリ來ル米ノ媒介ト認ムルモ敢テ不當ニアラサルヲ知ルニ足ルヘシ  
上記ノ如ク病系ハ外國米ニ基因スルモノアリト推定セハ其病毒侵入ノ時期ハ如何此點ニ關シテハ斃鼠ノ状態ヲ觀察スルヲ以テ最モ肝要ナリトス三十六年九月十日松影町方面ニ消毒の清潔法ヲ執行セル際黒部與八方ヨリ數十頭ノ斃鼠ヲ發見シ此内乾固若ハ腐敗セルタメ鏡檢ニ適セザリシモノ多數アリシト及三十六年七月五日吉濱町十番地鈴木キン方ニ於テ「ペスト」鼠一頭ヲ捕獲セル等ノ狀況ヨリ推定スルトキハ三十六年六月前後ヨリ米穀ト共ニ齎來セシモノナラム而シテ一方根岸町字麥田ノ病毒ニ關シテハ患家ヲ消毒セル際乾固セル數十頭ノ斃鼠ヲ發見セシヲ以テ同方面ハ四月以降既ニ病毒ノ侵襲ヲ蒙リタルモノト推測シ得ヘシ前叙ノ如ク此方面ノ病毒ハ外國米ニ關係ヲ有スルニ拘ハラズ其侵入ノ時期ハ推定上差異アルヲ以テ之レヲ別個ノ輸入病毒トセンカ將タ同一ノ病毒ト見做スヘキカハ頗ル困難ナル問題ニ屬スレトモ此際寧ロ同一病系ト云フヲ以テ穩當ナリト信ス何トナレハ彼ノ外國米ハ兩者共ニ該倉庫ニ收藏シタルモノナルヲ以テ其出荷ノ順序ヨリ見ルモ先ニ收藏シタル根岸町方面ニ運搬セラレタルモノハ病毒ノ汚染ヲ蒙リ其後收藏シタル黒部與八方ニ引取リタル米穀モ同倉庫内ニ於テ病毒ニ汚染セラレタルモノト推測シ得ヘケレハナリ

三 根岸町方面ニ於ケル病系

根岸町三千五百七十七番地萬里小路又憲方雇人肥田ウメノ病系ニ關シテハ當時患家若ハ其附近ヨリ「ペスト」鼠或ハ其疑ヒアル斃鼠ノ發見ナク且ツ患者ハ罹病前「ペスト」流行地域ニ往來セシコトナキト在上海ノ親戚ヨリ七月下旬及八月中旬鶏卵其他書狀等ヲ送致セラレタルノ事實ヲ知ルノミニテ系統ハ全ク不明ニ屬ス

四 汽船アラゴニヤ號ノ病系

明治三十六年五月二十六日入港汽船「アラゴニヤ」號乗込船夫支那人亞堯ノ發病ニ就テハ明カニ船舶内ニ於テ感染セルモノニシテ是レ又新輸入ノ病毒タルコトヲ證スルニ足ルヘシ

以上ハ第一、二回ノ本縣ニ於テ流行セル病系ニ就テ其大體ヲ推論セルニ過キスト雖モ各患者ノ罹病ニ關シテハ

殆ント總テ鼠族間ノ流行傳播ニ依リ感染セシハ疑フヘカラス則チ海岸通五丁目、西戸部町、戸部町、三吉町、松影町浦島町等ノ流行地域ニ於テ患者發生ノ前後「ペスト」鼠ノ發見アリシ事實ニ徴スルモ明カナリ  
今第一、二回流行時ニ發生セシ五十有八名ノ患者ヲ上記病系ニ依リ區別スルトキハ左ノ如シ

第一回流行時(海岸通五丁目)病系ニ屬スル患者

- (一) 佐々木シナ
- (二) 持丸彌吉
- (三) 木村徳次郎
- (四) 山田兼吉(疑似症)
- (五) 山口甚吉
- (六) 田中寅之助
- (七) 中田寅吉
- (八) 齋藤三吉

右ノ内持丸彌吉ハ第一患家佐々木石右衛門方ニ被雇中疾病ノタメ解雇セラレ十月五日橋樹郡子安村三千二百八番地持丸宇之助方ニ至リ翌六日午後六時死亡シ死後檢案ニ依リ「ペスト」病ト確定シタル者ニシテ其病系ハ明カニ海岸通五丁目二十番地ヲ侵襲セル病毒ト同一系統ニ屬スルモノトス又山田兼吉ハ海岸通ノ流行地域トハ遠隔セル三吉町ニ於テ發病セルモノニシテ其入院前後ニ於テ反覆シテ施行セル鏡檢ノ結果ノ常ニ陰性ニ終リシヲ以テ本病ニアラサリシハ明ナリ

神奈川方面ノ病系ニ屬スル患者

- |      |       |      |       |
|------|-------|------|-------|
| (一)  | 山崎留吉  | (二)  | 野口タケ  |
| (三)  | 木村アキ  | (四)  | 倉本金次郎 |
| (五)  | 倉本彦太郎 | (六)  | 同     |
| (七)  | 加山金藏  | (八)  | 加山トミ  |
| (九)  | 中谷シモ  | (十)  | 小山駒太郎 |
| (十)  | 加山信太郎 | (十一) | 加山馬次郎 |
| (十一) | 同     | (十二) | 殿原フク  |

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

五十一



第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

松影町吉濱町方面ノ病系ニ屬スル患者

- |      |       |      |       |
|------|-------|------|-------|
| (一)  | 松本ハマ  | (二)  | 松本ハナ  |
| (三)  | 岡田イシ  | (四)  | 岡田コウ  |
| (五)  | 同源太郎  | (六)  | 河合音次郎 |
| (七)  | 柳源太郎  | (八)  | 内山定太郎 |
| (九)  | 高橋ハルエ | (十)  | 高橋トク  |
| (十一) | 清水ウツタ | (十二) | 上野仙太郎 |
| (十三) | 吉田テツ  | (十四) | 本多源次  |
| (十五) | 大塚六之助 | (十六) | 池崎ハル  |
| (十七) | 野口藤吉  | (十七) | 齋藤豊吉  |

表中柳ミネハ患者内山定太郎内縁ノ妻ニシテ三十六年九月十一日松影町一丁目三十一番地ノ自宅ヨリ久良岐郡屏風浦村三百十番地實家柳源次郎方ニ赴キ翌十二日ヨリ發病セシヲ以テ明カニ本系統ノ病毒ニ侵襲セラレタルモノナリ

根岸方面ノ病系ニ屬スル患者

- |     |                   |     |       |
|-----|-------------------|-----|-------|
| (一) | 青木昌次郎             | (二) | 近藤カネ  |
| (一) | 根岸町字麥田方面ノ病系ニ屬スル患者 | (一) | 肥田ウツメ |
| (一) | アラゴニヤ號ノ病系ニ屬スル患者   | (一) | 亞堯    |
| (一) | 第一回流行時ト同一病系ニ屬スル患者 | (二) | 瀬崎寅吉  |
| (一) | 村松善一              |     |       |

- |     |      |     |      |
|-----|------|-----|------|
| (三) | 近藤マヌ | (四) | 石村ソノ |
|-----|------|-----|------|

上記四名ノ患者ハ第二回流行時病系ノ部ニ於テ掲ケタル「ベスト」鼠「ベスト」患者トノ關係ヲ示シタル表ニ依ルモ恐ラク第一回流行時ノ殘毒カ鼠族間ニ流行傳播シタルノ結果遂ニ感染シタル者ナル事ヲ推測スルニ足ラン

病系不明ノ患者

- |     |       |     |           |
|-----|-------|-----|-----------|
| (一) | 大和田コマ | (二) | 山口松太郎     |
| (三) | 小山セキ  | (四) | 安田キン      |
| (五) | 鈴木榮吉  | (五) | 福田一男(疑似症) |
| (七) | 遠藤カツ  | (六) | 福田イネ      |
| (九) | 鈴木又吉  | (七) | 田中健太郎     |
- 以上十名ノ病系ニ就テハ孰レノ系統ニ屬スヘキカ全ク不明ナリ  
(以上明治三十五、六年流行記録ニ據ル)

第三回流行

(患者ノ上ニ冠シタル番號ハ別表患者表ノ番號ナリ以下之レニ倣フ)

第二回流行後「ベスト」鼠發見ハ三十七年十四頭、三十八年一頭ニシテ以來約一ケ年間ハ全ク之レヲ發見セザリシカ三十九年十一月以來戸部署方面ニ數頭ヲ發生シ翌四十年ニ入りテ尙點々「ベスト」鼠ヲ發見セシカ同年五月二十日西戸部町栗谷三次ヲ初發トシ爾來毎月數名ノ患者ヲ發生シ長島町平沼町ニモ亦之レヲ見七月ニ至リ接續地ナル保土ヶ谷町又之レニ侵サレ數名ノ患者ヲ出スニ至レリ次テ八月十三日南太田町ニ薩田直治ナル一名ノ患者ヲ出シテ終熄ヲ告ケタリ

之レカ病系ニ就テハ次ノ四種ニ區別シテ記述スルヲ便トス

(A) 西戸部町方面

明治三十九年十一月、十二月、兩月戸部警察署方面ニ合計五頭ノ「ベスト」鼠ヲ發見セシモ當時其鼠ニ札ヲ附着シア  
第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

ラザリシヲ以テ其出所明カナラス翌四十年ニ入りテ一、二、四、五、月ニ平沼戸部方面ニ「ペスト」鼠ヲ點出シタル爲メ之レカ防遏ニ努メ深ク警戒ヲ怠ラサリシコトハ既ニ記載セシ處ナルカ同五月二十二日ニ至リテ果然西戸部町天神山千七百九十七番地第一號患者栗谷三次(四十四年)ナルモノ屍體檢案ノ結果「ペスト」ト確定シ茲ニ第三回流行ノ端緒ヲ啓キ第三號患者タル同人ノ男栗谷辰秋(四年)モ亦隔離中ニ發病死亡セリ之レカ感染徑路ヲ調査スルニ患者ハ白米小賣商ニシテ主トシテ營業ニ從事セシモノナルカ死亡後ニ發見セシヲ以テ其家族ニ就キ調査上必要ナル事項ヲ糾問セシモ要領ヲ得ス從テ病毒ノ系統ニ就テハ不明ニ屬セシヲ以テ更ニ其附近ニ就キ種々精探シタルニ其隣家ノ無職山田平四郎ナルモノヨリ蘭貢米三俵ヲ買入レタルコト(年月不詳)及發病當日何處ヨリカ同一俵ヲ購ヒ來リタルヲ聞知シ之レカ仕入先ヲ取調ヘシニ市内何レノ米穀問屋ニ於テモ同人ハ賣渡シタル形跡ナキモ患家ニ於テ一ヶ月平均二、三俵ノ蘭貢米ヲ販賣セシコトハ患者妻ノ言ニヨリテ明白ナルヲ以テ之レカ出所ニ就テ探索セシニ栗谷三次カ販賣セシ蘭貢米ハ米穀卸商等ヨリ購入セルモノニアラスシテ前記山田某及俗ニウロ〜船ト稱シ解船々夫等ノ窃取セシ贓品ヲ廉價ニ購ヒ之レヲ小賣シツ、アリタルモノナルカ如シ而シテ患者ノ隣家ナル山田平四郎ハ橫濱塵船合資會社々員トシテ入港外國船舶ヨリ燼灰類ノ取揚ニ際シ種々ナル手段ヲ利用シ有價物品ヲ收得シ之レヲ他ニ密賣スルヲ業トスルモノナリシ而シテ此等不正行爲ニヨリテ得タル物品ハ各其專業者ニ密賣スルモノニシテ米穀類ハ前記ノ如ク第一號患家及第二號患者ノ隣家ナル和田多四郎ニ賣渡シツ、アリシモノナリ

第二患者小川ヨウ(二十四年)ハ蒲燒業者ノ妻ニシテ屍體檢案ニヨリテ發見サレタルモノナリ患家ハ西戸部町ニシテ其隣家ニ白米商和田多四郎ナルモノアリ此者ハ第一號患家ト同様ニ山田某ヨリ掃寄米ヲ買入レテ販賣スルモノニシテ同家消毒ノ際五頭ノ「ペスト」嚙鼠ヲ發見シタリ之レト棟ヲ接シ壁一重ヲ以テ隣レル第二患家トハ常ニ鼠族ノ往來アリシコトハ素ヨリ之ヲ推定シ得ヘク患家消毒ノ際同家ニモ亦一頭ノ「ペスト」鼠ヲ發見シタルノ事實ハ此推定ヲシテ益々確實ナラシムルモノナリ

此等ニヨリテ推考スルニ昨年末來發生シタル西戸部方面ノ「ペスト」病毒ハ外國船舶ニヨリテ輸入セラレ之レニ



汚染シタル船塵中ノ掃寄米ニヨリテ小賣米商ノ鼠族間ニ先ツ流行シ其交通ニヨリテ漸次附近ニ及ホシ病毒益々濃厚トナリ遂ニ人體ニ感染スルニ至リシモノナラント推考セラル、ヲ以テ同方面ノ患者ハ恐ラク同一ノ病毒ニ感染シタルモノト見做スモ失當ナラサル可ク之レヲ以テ各患者ニ就テノ記載ヲ省キ一括シテ其姓名ヲ列スルノミトセリ當該地域タル西戸部町天神山附近ハ多ク細民ノ居住スル長屋ニシテ屋棟相連リ各家境スルニ一枚ノ壁又ハ板ヲ以テス從テ鼠族ノ交通亦自由ナリ而シテ彼等ノ職業ハ多クハ勞働ニ從事スルニ在リ

同地方面ニ發生シタル患者ハ上記三人ノ他左ノ四名ニシテ恐ラク同一系統ノ病毒ニヨリ感染シタルモノナルヘシ然レトモ第五號患者同町太田キク(五十八年)ハ其内縁ノ夫タル西出久兵衛カ古俵商ニシテ同家ノ二階ニハ中央倉庫會社内稅關出張所ノ小使同居シ時々倉庫ヨリ掃寄米及砂糖等ヲ持チ歸リタルノ事實アリ或ハ之レ等ニ病毒汚染セルモノアリテ感染シタルモノニアラサルナキヤノ疑アルモ同地ハ前掲ノ如ク既ニ昨年來ノ有毒地ニシテ且ツ第一號二號患者ト相距ルコト遠カラス寧ロ此等患者ト同一系ノ病毒ニ感シタリトスルノ當ヲ得タルモノナラン

第六號患者太田普ハ前記第五號患者ノ孫ニシテ平素之レト起居ヲ共ニシ同一ノ臥床ニ起臥セシモノナリシカ終ニ隔離中ニ發病シタルモノニシテ前者ニ後ル、コト四日即チ祖母ノ死亡後ニ發病シタルモノナリ其感染ハ直接ニ祖母ヨリシタルカ又ハ同一病毒ニ時ヲ異ニシテ感染シタルモノナルカハ明カナラスト雖モ要スルニ同一病系タルヤ疑ナシ

西戸部町方面ニ發生シタル患者ハ左ノ如シ

月日	病日	住	所	職	業	氏	名	年	齡	備	考
五月二十日		横濱市西戸部町字天神山千七百九十七番地		白米小賣		栗谷	三次	四十四年			
同二十八日		同所三次二男		白米小賣		栗谷	辰秋	四年			
同		同所二百六十七番地		蒲燒商		小川	ヨウ	二十八年			

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

六月四日	横濱市内田町六丁目西出久兵衛内縁妻	古麻袋	太田キク	五十八年
同八日	同市西戸部町字天神山二百七十九番地太田猪太郎方	同ノ	太田普	八年
七月八日	同市戸部町六丁目百八十三番地銚山政兵衛二男	運送人夫ノ	銚山辰藏	十二年
七月八日	同市西戸部町千七百七十四番地井野國藏妻ヨシ私生子	倉庫人夫ノ	須崎幸作	五年

(B) 内田町方面

第四號患者ハ内田町ニシテ西戸部町トハ數丁ヲ隔テリ患者ハ古俵商ノ次女石井チヨ(五年)ニシテ六月六日死亡後主治醫ノ届出ニヨルモノナリ

患者ノ戸主政藏ハ本年四月中郡秦野町ヨリ移轉シ來リ古俵商ヲ業トシ横濱市接續地タル屏風浦村及横濱市場末ナル根岸、本牧、北方等ノ米商ヨリ日々空俵ヲ買ヒ集メ歸途市内ノ疊業者又ハ牛乳搾取所へ全部賣却シテ空手歸宅スルヲ常トス

患者ノ實母トメハ内職トシテ高島町一丁目一番地南京米袋、古俵、古繩商堤男三郎方へ五月二十日ヨリ同三十一日マテ南京米袋ノ修理ニ雇ハレシモノナリ

該業者ノ南京米袋古麻袋ノ出所ヲ調査スルニ市内米商又ハ乾物商ヨリ買集メ來リシモノニシテ之レヲ貯藏スル物置ハ後記ノ「ベスト」鼠ヲ發見シタル西村米吉ノ居宅ト同一ノ建物ニシテ物置ト同居宅トハ唯五分板一枚ヲ以テ境スルノミニシテ間口二間奥行三間其内ニ南京米袋二千五百餘枚古俵八百餘枚ヲ貯藏シ其二階ニハ女工二名之レガ修理ニ從事シ居レリ

此等ノ事實ヨリ考フルニ石井チヨノ傳染系路ハ或ハ其實母ノ取扱ヒタル前記南京米袋中ニ病毒ニ汚染シタルモノアリ會々修理ノ際之レニ汚染シテ歸來シ其次女ニ傳ヘタルモノナランカ

該物置ノ隣家ナル西村ノ居宅流シ元ニテ捕ヘタル鼠一頭「ベスト」鼠ナルヲ證明シタルハ該家附近ニ病毒ノ存在

ヲ證スルモノニシテ前記ノ推定ニ多少ノ根據ヲ與フルモノナリ然レトモ患者ノ母ノ雇ハレシ時日ト發病ノ時ト餘リニ接近スルヲ以テ此推定ニ向テ非難ノ點ナキニシモアラスト雖モ患者ハ五歳ノ女兒ナレハ病毒ニ汚染シタル母ノ膝上ニアリテ哺乳其他ノ際ニ之レニ感染シ口腔又ハ咽頭等ヨリ病毒侵入シテ頸腺ヲ侵セシモノニアラサルカ其真因ニ至リテハ不明ニ屬スルヲ以テ茲ニハ唯其事實ヲ臚列スルニ止メントス

(C) 長島町方面

第七號患者 ハ長島町二丁目菓子製造業又ハノ長女内藤カノ(十八年)ニシテ傳染系路明カナラサルモ其父ハ波止塲人夫ニシテ時々掃寄其他ノ物品ヲ持歸ルヲ認メシモノアリトノ事ト患者發病前其流シ元ニテ斃鼠(「ベスト」菌ノ有無不明)アリシ事實ヲ知り得ルノミ

第九號患者 長島町二ノ一西洋寢衣仕立業深野福三方角藏二男七五三吉十六年ニシテ同家ハ上記第七號患者ノ左後方ニアリ其隣家石工小泉方捕鼠中一頭ノ「ベスト」鼠ヲ發見セリ之レヲ以テ同地ニ「ベスト」病毒アリシハ明カナルモ如何ナル系路ニヨリテ來リシヤ不明ナリ然レトモ第七、九號患者ハ恐ラク上記ト同一系ノ病毒ニ感染シタルモノナラン

(D) 系統ノ不明瞭ナルモノ

以上叙シ來リシモノト雖モ其真系ニ至リテハ未タ遑カニ之レヲ斷定シ難キモ其内ニテ最モ眞ニ近シト推測セラレシモノヲ掲ケタリシカ本項ニ於テハ之レヲ上記ノモノニ比スルニ其系統ノ明カナラサルモノヲ總括シ其系統ニ最モ近キ關係アル事實ヲ列記シテ識者ノ判定ニ委セントス

一、第八號患者 栗原仁兵衛(六十七年)ハ花咲町一丁目船業田中仙太郎方ノ二階ヲ借受ケ古時計煙草入等ノ行商ヲナセシモノニシテ之レカ系統明カナラス唯該患者田中ハ船業ニシテ入港船舶貨物ノ揚卸ヲ業トセルモノナルコトハ稍々注目ニ値セン

二、第十號患者 石井勝太郎ハ米搗業ニシテ西戸部町米商方ニ雇ハレ居リシモノナリ(恐ラクハ(A)系ト同シカラントノ疑アルモ有毒地ト遠隔セルヲ以テ本欄ニ收録セリ)

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

五十八

- 三、第二十號患者 ハ南太田町細民部落ニ住スル植木職薩田直治(十二年)ニシテ其系統明カナラス然レトモ其隣家ニ牛乳搾取場アリテ該牛ノ食料トシテ古俵類ヲ貯藏セル納屋アルヲ知ルノミ
  - 四、第十一號患者 ハ保土ヶ谷町字惟子三一九二番地喜助長女飯島キヨ(十二年)ニシテ患者ハ水車業ヲ營ミ横濱方面ヨリ依囑セル米麥ノ精白若クハ製粉ヲ業トシ又掃寄米ヲ買ヒ之レヲ精撰シテ販賣シ患者モ之レニ從事セシコトアリト云フ恐ラク之レ等ヨリ病毒ニ感シタルモノナランカ
  - 五、第十二號患者 保土ヶ谷町字神戶五四三定吉妻上田ソノ(三十四年)七月四日發病第十三號患者同人伯母カネ(七十三年)七月六日發病此等兩人ノ家ハ農業兼薪炭商ニシテ貯藏品ノ注目スヘキモノナク又他ト交通シタルコトナク全ク不明ニ屬ス
  - 六、第十四號患者 保土ヶ谷町惟子三二六〇番地依田キク(六十一年)ハ無職者ニシテ其近隣ニ馬齋薯澱粉ノ製造業者アリテ外國米ノ空俵ヲ買ヒ之レニ澱粉ヲ充填シテ販賣セリ而シテ患者ノ娘ハ之レト内縁アリテ常ニ同家ニ出入シ之レヲ手傳ヒ居リタリシコトハ注意スヘキ事ナリ
  - 七、第十八號患者 保土ヶ谷町字岩間鐵道踏切番人高橋勝五郎三女クマ(十一年)ニシテ同家ハ耕地中ニ獨立セル小家屋ナリ傍ヲ養雞ヲ爲シ常ニ餌料トシテ船舶又ハ倉庫ヨリ出ツル掃寄米ヲ購入使用セリ恐ラクハ是等カ因ヲ爲シタルニアラサルカ
  - 八、第十九號患者 保土ヶ谷町上岩間鍛冶職寅吉三男吉五郎(四年)ニシテ同家ノ隣家ニ白米商アリ患者ハ小兒ニシテ遊戲其他ノ爲メ往復セシヨリ感シタルニアラサルカ
- 之レヲ要スルニ今回ノ流行モ亦外國米ニ基因スルハ明ニシテ之レヲ蔓延セシメタルハ主トシテ船底落米及包裝(麻袋)ノ集散ニ伴ヒタルモノ、如ク而シテ其ノ何地方ヨリ何船ニ由テ侵入シタルヤハ明カナラスト雖トモ恐ラクハ昨三十九年秋季ヨリ數回入津シタルモノナラン

第四回 流行

明治四十二年二月市内野毛町二丁目上野助次郎方ニ「ペスト」鼠ヲ出シ同家消毒ノ際古俵收藏倉庫ヨリ斃鼠六頭内一頭ノ「ペスト」鼠ヲ發見シタリ次テ三月三十日ニハ南太田町ヨリ「ペスト」鼠ヲ發見シ四月ニハ同地ニ數頭ノ「ペスト」鼠ヲ發見セシヲ以テ專ラ警戒ヲ怠ラサリシニ同月末ニ至リテ終ニ南太田町ニ一名ノ患者ヲ發生シ爾來同地ニ二十二名ノ患者ヲ見、野毛町方面ニモ十數頭ノ「ペスト」鼠ト四名ノ患者ヲ發生シ次テ石川仲町、青木町方面ニモ亦患者ヲ發生スルニ至リ又市内諸所ニ「ペスト」鼠ヲ散見シ病毒散蔓ノ區域愈々擴大シ將來ノ慘狀測ル可カサルノ形勢ヲ呈シ官民ノ憂慮一方ナラサリシニ幸ニ防疫措置漸次其効ヲ現ハシ初發以來二十八名ノ患者ト百三十八頭ノ「ペスト」鼠ヲ出シ九月ニ至リテ本流行ノ終ヲ告ケタリ

本病系ノ記述ニ就テハ患者又ハ其附近ニ「ペスト」病毒アリテ其レニ感染シテ發病シタリト認メラル、モノニシテ其病毒ノ浸潤甚シキニ達セル地域ハ一括シテ何々方面トシ其病系ノ明カナラサルモノハ成ヘク臆想的斷定ヲ避ケ各別ニ其病系ニ就キ疑問トセル所ノモノヲ掲グルノミトセリ

今回患者ヲ初發セシ南太田町ノ一部ハ横濱市ノ西南端ニシテ多クハ貧民ノ群居スル地ナリ同地域中ノ一部落ニハ紙屑拾ヒノ一團アリテ市内各所ヲ徘徊シ塵芥函等ヨリ紙屑襤褸等ト共ニ鼠ヲ拾ヒ來リテ之ヲ同地住民小島房次ナルモノニ販賣スルヲ常トセリ此小島ナルモノ亦元來紙屑拾ヒナルモ本市ニ於テ捕鼠買收開始後市内各所ヲ遍歴シ鼠ヲ買ヒ集ムルヲ以テ寧ろ本業トナスニ至リシモノナリ故ニ同部落ハ市内各所ニ投棄セラレタル鼠族ノ集散地タル觀ヲ呈シ其内ニ往々「ペスト」鼠ヲ發見セリ

同地住民ノ多クハ土工、人夫、糞尿汲取人、行商人等ニシテ細民軒ヲ並ヘ横濱市第一ノ貧民窟ト稱セラレ俗ニ乞食谷戸ト呼ビ下水ハ家ノ前後ニ汎濫シ土地卑濕ニシテ一種ノ異臭鼻ヲ衝キ屋内ノ狹隘ニシテ不潔ナルコト言語ニ絶シ塵埃堆積スルモ敢テ介意セス是レ彼等ハ常ニ妻子共ニ星ヲ戴ヒテ出テ月ヲ負フテ歸リ其間孜々トシテ勞働ニ從事シ世路ト生活ノ困難ニ戰フテ復タ他ヲ顧慮スルノ遑ナク習ヒ性トナリ遂ニ現狀ヲ呈スル亦恠ムニ足ラス四十一年十一月同地ニ一頭ノ「ペスト」鼠アリシカ四十二年三月三十日ニ發見セシ場所ト距ル遠カラズ即チ同町富士山下千〇四十四番地宮澤寅吉ノ横手ナル大下水ニ蹠蹠セルモノヲ認メ之レヲ撲殺セルモノナリ次テ四

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

五十九

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

月ニ入りテ十六、十九、廿二、廿四日同地附近ニテ「ペスト」鼠ヲ續出シ五月廿六日迄ニ同方面ニ於テ發見セシ「ペスト」鼠ハ計十四頭ニ達セリ(別項「ペスト」鼠ト患者ノ關係参照)其發見範圍ハ前後四五丁ノ区域内ニシテ之ヲ細別スレハ其内一頭ハ白米商前川關次郎方ノ店頭米俵ノ間ニテ捕鼠器ニテ捕ヘシモノニシテ同家ハ尙其後消毒的清潔法執行ノ際其裏ノ長屋ニテ一頭ノ「ペスト」鼠ヲ捕ヘタリ而シテ上記ノ三月三十日ニ捕ヘシ下水ト同一ヶ所ニテ四月廿八日一頭ノ「ペスト」鼠ヲ拾得シタリ其場所ハ上記前川米店ト僅々二三間ノ距離ニシテ上記四頭ノ「ペスト」鼠ハ周圍七、八間位ノ地域ニテ發見シタルモノナレハ恐ラクハ同一系統ニ屬シ本部落中ノ最モ病毒濃厚ナル局所ニシテ第一患家ハ實ニ同家ト相對向セルモノナリ而シテ尙同部落ノ白米商方ニテ消毒ノ際一頭ノ「ペスト」鼠ヲ見亦後文記スル野毛方面ニテ數頭ノ「ペスト」鼠ヲ發生セシ古俵商上野助次郎方ニ出入スル同商相原作次郎方ノ捕鼠一頭ニ「ペスト」菌ヲ發見シ終ニ同家ニテ一名ノ患者ヲ發セルモ亦其部落ヲ同フセリ其他同地方ニテノ「ペスト」鼠ニシテ捕鼠器ニテ捕ヘタルモノ三頭道路ニテ拾得シタルモノ二、猫ノ捕ヘタルモノ一、出所不明モノ二頭ナリ

斯クノ如ク餘リ相距レサル場所ニ於テ多數ノ「ペスト」鼠ヲ發生セシハ同地ニ伏在セル「ペスト」病毒ノ必ス稀少ナラサルヲ證スル者ナリ今回ノ流行ニ於テ全患者ノ七分ノ三ハ實ニ同處ヨリ發生シタル者ニシテ其感染系路ノ明カナルモノト然ラサルモノアリト雖モ要スルニ同一ノ系統ニ屬スルモノト見做スモ決シテ失當ニ非サルヘシ同町ニ病毒輸入ノ源ヲナセシモノハ白米商ノ取扱ヒシ外國及臺灣米ニ因シタルモノ其一ニシテ他ノ一半ハ古俵又其責ヲ免ル、能ハサル可シ此等ノ關係ハ後ニ至リテ石川仲町青木町等ノ米穀商及野毛町古俵商ニ「ペスト」病毒ヲ證明シタルニヨリ最早之レニ異議ヲ挾ムノ餘地ヲ存セサルヲ以テ當方面ノ各患者ハ個々ノ記述ヲ省キ唯其患者名ヲ舉列スルニ止メントス

既記本回ノ「ペスト」病毒ノ船載米殊ニ臺灣米トノ關係ニ就テハ次ノ事實ニヨリ其推定ノ大誤ナキヲ證スルヲ得ヘシ

本年五月四日中央倉庫會社ノ捕鼠中ヨリ一頭ノ「ペスト」鼠ヲ發見シタル第三百三十一號倉庫ニ就キ調査セシニ其

建築ハ四百餘坪ニシテ當時尙臺灣ヨリ來リシ米及砂糖ヲ收藏シアリキ而シテ之レカ積込、仕向先等ハ別表ノ如クニシテ既ニ同庫又ハ其在庫品ニ「ペスト」病毒アリテ之レヨリ市内ノ米商ニ散セシモノナリトセハ後記ノ石川仲町及青木町方面ノ米商又ハ其附近ニ本病毒ヲ及ホセシ理由ヲ了解シ得ヘキモ茲ニ惟ムヘキハ中央倉庫會社ノ倉庫又ハ其在庫品ヲ本病ノ泉源ナラント推定スルニハ同倉庫ニテ發見シタル「ペスト」鼠ノ少ナキニ失スルノ嫌ナキニアラス然レトモ既ニ第二回ノ流行記事中ニ採録セシガ如ク此大倉庫ニ比シテ捕鼠届出數ノ極メテ僅少ナルヨリ見レハ同庫ニ於テ捕鼠又ハ斃鼠アルモ之レヲ燒却又ハ他ニ投棄シテ警察署ニ持參セサルモノアリシニアラサル乎暫ク疑ヲ存シテ識者ノ推斷ヲ俟ツ

其後六月十一日ニハ同倉庫ノ石垣ニ於テ斃鼠ヲ發見シ「ペスト」菌ノ存在ヲ證明シタリ

第三百三十一號倉庫品集散明細ハ左表ノ如シ

中央倉庫株式會社第三百三十一號倉庫内收藏外國米飛散調

其一

船名	入庫年月日	種類	袋數	出切又ハ現在	出庫年月日	行
獨逸船 ノイミエ レン號	自四十二年 四月十八日 至五月一日	蘭貢米	二八〇	出切	自四十二年 十一月十三日 至十二月廿三日	中郡平塚、高座郡茅ヶ崎奥州石ノ卷及静岡地方
新潟丸	同 九 月 七 日	臺中玄米	六八〇	出切	自同 九 月 八 日 至同 九 月 十九 日	橘樹郡生見尾村、荏原郡大森町及八王子、甲府其他ノ地方
	同 同 廿 一 日	同 糯米	七三	出切	自同 九 月 十七 日 至同 九 月 十七 日	不明(木佐森回漕店扱ニテ總テ地方)
	同 同 廿 一 日	臺灣米	一、五七八	現在		
	自同 九 月 廿 一 日 至同 十 月 三 日	臺中糯米	一九二	出切	自同 九 月 廿 六 日 至同 十 月 四 日	東京市及其他ノ地方

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

鹿港丸	四十二年 自九月廿一日 至同廿六日	臺南玄米 臺灣糯米	一、七四四 出切	自四十二年 十一月十三日	東京市、八王子、岩城、岩代、其他ノ 地方
福州丸	同 自九月廿四日 至十月三日	臺中玄米 同 同	三八〇 出切	自同 十月廿一日	八王子、岩城白石町
合計	同 自九月廿四日 至十月三日	臺南玄米 臺北白米	七、六七六 出切	同 十月二十日	福島縣
		同 同	一九七 出切	同 自九月廿四日 至十月三日	横濱市南吉田町、高木健次郎方(此分 横濱市内ニ散ス)

前表福州丸積荷臺北白米横濱市内及接近各小賣店へ飛散調 其二

月 日	袋數	所 在	米店名	月 日	袋數	所 在	米店名
自九月廿六日 至十月十日	一一 一五四四	南太田町	村田	自十月十一日 至十月十八日	二	南吉田町	澁谷
同九月廿六日	三 二二四	同	齋藤	自十月十八日 至十月廿六日	四	眞金町	米善
同九月廿九日	八 一〇四二	同	前川	同九月廿七日 至十月十日	一〇	石川仲町	吉原

月 日	袋數	所 在	米店名	月 日	袋數	所 在	米店名
同十一月一日	八 一三六六	同	村井	同十一月一日	二	根岸町	吉川
同十一月十日	二 二二二三	同	村田屋	同十一月五日	三	末吉町	遠藤
同十一月八日	四 一〇一	中村町	生澤	同十一月九日	二	足曳町	恩田
同九月廿六日	二 一三三三	同	吉田屋	同十一月十七日	四	大岡川村	山本
同九月廿六日	二 一三三七	同	大塚	同十一月廿五日	二	南吉田町	葛原
同九月三十日	二 一〇一	同	中里	同十一月廿九日	三	長島町	山元町
同十一月四日	七 一六二	同	園田	同十一月廿九日	二	足曳町	荒木
同九月廿五日	五 九三三	南吉田町	村松	同十二月八日	四	大岡川村	酒卷
同十一月廿九日	三 一〇一	同	植松	同十二月八日	二	本牧町	木田
同十二月七日	一 一〇一	同	久良岐屋	同十二月九日	一	石川仲町	菅原
同十二月七日	二 三三三	三吉町	西川	同十二月九日	一	同	鈴木
同十二月十四日	一 二〇	同	西川	同十二月十五日	一	同	武藏屋
同十月廿四日	一 一〇	同	小林	同十二月十五日	一	同	越田
同十月廿五日	二 三三三	二根岸町	二見屋	同十二月十五日	一	同	松谷
同十一月一日	一 一〇	山元町	永久保	同十二月八日	一	同	某店
同十二月八日	三 三三三	三根岸町	新井	同十二月八日	一	同	某店
同十二月七日	三 三三三	三根岸町	黒田	同十二月八日	一	同	某店
同十二月七日	三 三三三	三根岸町	黒田	同十二月八日	一	同	某店
同十二月七日	三 三三三	三根岸町	黒田	同十二月八日	一	同	某店
同十二月七日	三 三三三	三根岸町	黒田	同十二月八日	一	同	某店
同十二月七日	三 三三三	三根岸町	黒田	同十二月八日	一	同	某店

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系 六十四  
備考 △印ハ「ベスト」發見セシモノナリ、本表ノ他ニ尙小賣店ニ賣タルモノモ一、二、俵賣ニテ現金取引ナ  
リシ故帳簿ニナカリシ

南太田町方面ノ患者姓名表

月日	病日	住	所	職業	氏名	年齢	備考
四月廿七日		横濱市南太田町千四十四番地		洋傘直シ	木戸捨次郎	二十九年	
五月一日		同 町千六百四十五番地		糞尿吸除人	須賀井與吉	三十九年	
同 月九日		同 町千六百七十六番地		ハンカチ 工	村田ミツ	十五年	
不詳		同 所		人夫ノ	村田トメ	九年	
同 十四日		同 町千六百五十二番地		甘酒 行商	橋本鐵藏	十年	
同 十三日		同 町千三百六十一番地		紙屑拾	横田トラ	三十一年	
同 十四日		同 所		同ノ	同 キヌ	八年	
同 十三日		同 所		同ノ	同 寅雄	二年	
同 十日		同 町千六百四十四番地		農ノ	村田七郎	五年	
同 廿二日		同 町千五百七十五番地		無ノ	相原キヌ	九年	
六月一日		同 町千五百十四番地		紙屑拾	船橋マツ	四十八年	
同 二十日		同 町千二百九十七番地		人力車夫	松田ナヲ	三十八年	

野毛町方面

明治四十二年二月十九日戸部署買収鼠中一頭ノ「ベスト」鼠アリ調査ノ結果野毛町三丁目古俵商上野助次郎所有  
納屋ニテ捕ヘタルコト判明セリ同家ハ市内空俵空箱古繩類ヲ買集メテ之レヲ販賣スル問屋ニシテ當時問口二間  
半奥行十間ノモノ及ヒ問口三間奥行八間ノ納屋ニ米ノ古俵、古アンペラ、麥藁俵、古繩、空箱等山積シアリ一  
見鼠族ノ棲息ヲ察セラル、モノニシテ同月十八日米ノ空俵ヲ分類中一頭ノ斃鼠ヲ發見シ引續キ四頭ノ生鼠ヲ捕  
獲シタルモノ、中ナル由ヲ確メ得タリ而シテ二月二十三日同家消毒ノ際同納屋ニ一頭三月二十七日同納屋裏ニ  
テ一頭ノ「ベスト」鼠ヲ發見シタリ同家ハ此方面ニ於テ最モ早ク「ベスト」鼠ヲ出シ且ツ其數モ亦多クシテ恰モ病  
毒ノ中心タルノ觀ヲ呈シ其附近ニ於テ發見シタル「ベスト」鼠ハ實ニ左表ノ如ク十五頭ニ達セリ如何ニ之レニヨ  
リテ野毛町方面ニ「ベスト」病毒ノ散蔓シタルヲ察スヘク而シテ其泉源ハ上野助次郎方納屋ニ藏置シタル古俵類  
ヲ措キテ之レヲ他ニ求ムル能ハス尤モ茲ニ留意ヲ要スルハ同町内白米商消毒ニ當リ一頭ノ斃鼠ヲ發見シ其中ニ  
「ベスト」菌ヲ證明シタルコト是レナリ、同方面ヨリ發生シタル患者ハ左記四名ニシテ其患家ハ何レモ古俵商ト  
相距ル遠カラズ病系ノ眞因ニ至リテハ素ヨリ明カニ之ヲ斷定スヘキモノニアラスト雖トモ蓋シ同一病毒系統ニ  
屬スルモノト見做スモ恐ラクハ失當ニアラサルヘキト思料セラル、ヲ以テ茲ニハ區々ノ記載ヲ省キ單ニ其姓名  
ノミヲ列記スヘシ

野毛方面「ベスト」鼠一覽

年月日	町	名	「ベスト」鼠發見ノ場所	備考
四十二年 二月十九日	野毛町三丁目百三十九番地		古俵商上野助次郎方納屋ニ於テ	
同 二月廿三日	同		同	
同 三月廿七日	同		納屋裏ニ於テ	

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

六十六

四十二年四月二十日	野毛町一丁目七十七番地	人力車駐車場ニ投棄シアリ
同	老松町(野毛町接續町)	野毛山病院配膳所ニ於テ
同	野毛町二丁目七十七番地	質店松倉方下水ニ於テ
同	同三丁目百三十七番地	煎餅商川口多四郎勝手ニ於テ
同	同二丁目七十五番地	新聞取次店關野啓二郎方臺所ニテ
五月五日	同二丁目百三十四番地	齋藤與吉方塵芥箱ニ於テ
同	同	馬須直二郎方
同	同三丁目	醫師合原莊太郎方
六月十一日	同一丁目	米商松本良藏方
同	同二丁目	醫師合原莊太郎方
同	同一丁目	内田編吉方
同	同一丁目十三番地	醫師合原莊太郎方
同	同一丁目	
七月十一日	同一丁目	

野毛町方面患者表

年發月日	住	職業	氏名	年齢	備考
四十二年五月三十一日	野毛町二丁目	機關士ノ	吉田	五年	

南吉田町方面

年發月日	住	職業	氏名	年齢	備考
同六月三日	同三丁目百三十五番地	無職ノ私生兒ノ	宍倉健太郎	三年	
同六月四日	同二丁目七十六番地	社員ノ	石澤桃吉	八年	
同六月廿五日	同三丁目百二十九番地	銀行員ノ	飯島健次郎	廿八年	

第十九號患者ハ南吉田町七百六十六番地豆腐業持田盛榮二十六年ニシテ六月十二日發病セルモノナリ患家ニ接シテ白米商アリ本月七日一頭ノ「ペスト」鼠ヲ出シタルモノニシテ本人ハ恐ラク其病毒ニ感染シタルモノナラン同家ニ放飼シタル「モルモット」二頭ノ内一頭「ペスト」ニ感染セシヲ以テ見レハ同家ニ病毒ノ存在シタルヤ明カナリ又南吉田町ニハ嘗テ同所河岸ニテ拾得シタル「ペスト」鼠二頭アリ其他南吉田町派出所買收鼠中ニモ「ペスト」鼠ヲ發見シタル事アリ

石川仲町方面

第十號患者石川仲町六丁目百二十一番地渡邊兼吉三十五年ニシテ五月二十日ニ發病シタルモノナリ同家ハ白米小賣商ニシテ患者ハ其戸主ナリ然シテ五月十日同家ノ隣家桶職米村房吉方ヨリ一頭ノ「ペスト」鼠ヲ出シ同十四日同家ヨリ更ニ一頭ノ「ペスト」鼠ヲ出シ五月十八日除鼠的消毒法ヲ行ヒシモ終ニ其主人ニ感染シタルモノニシテ全ク同家ノ米ト關係ヲ有シタルモノナラン

青木町方面

第二十一號患者青木町三千五百九十六番地水田カヨ四十二年ニシテ其夫ハ艦船行商ヲ營ミ兼テ自宅ニテ白米小賣ヲ業トスルモノナリ而シテ夫カ艦船行商ノ際密カニ船底掃寄物ヲ持歸リ患者ハ共ニ撰リ分ケニ從事シ又白米ノ小賣ヲ業トセルヲ以テ恐ラク此二者ノ何レカヨリ病毒ニ感染シタルモノナラン同家ニハ「ペスト」鼠ヲ發見セサリシモ放飼シタル「モルモット」四頭ノ内二頭感染シテ斃レシヲ以テ同家ニ「ペスト」病毒ノ存在

第一章第二項 市内流行ノ概況及其病系

六十七



シタルハ疑ナキナリ

第二十三號患者ハ前記患者ト約半丁ヲ距ル白米商坂戸万太郎四男寛藏十一年ノ小兒ニシテ其隣家タル吉田合資會社倉庫内ニ於テ「ペスト」鼠一頭ヲ發見シタリ該倉庫ニハ上海ヨリ輸入セシ穀包ヲ貯藏シアリタルモノナリ第二十七號患者ハ青木町六十九番地醫師船越鼎太郎長男光彦十九年ニシテ東京獨逸協會學校ニ通學中（休暇ニ依リテ）六月三十日歸宅シ七月八日發病セルモノナリ發病ノ翌朝一頭ノ病鼠二階ヨリ墜落セルヲ鏡檢セシニ「ペスト」菌ヲ證明シ翌日同家臺所裏ニテ發見セル一頭ノ鼠ニモ亦「ペスト」ヲ認メタリ之レヲ以テ同家ニ病毒アリテ不幸偶々東京ヨリ歸リシ青年ニ感染シタルモノナルヘシ同家ヘ來タリシ病系ハ明カナラサルモ同家ニ階物置ニ空俵ノ比較的多數貯藏セラレシノ一事ハ系統推定上注目ヲ要スルモノナルヘク放飼セル「モルモット」五頭ノ内三頭「ペスト」ニ感染シタリ之レヲ以テ同家ニ病毒ノ稀少ナラサリシヲ證シ得ヘシ

系統不明ナルモノ

第十二號患者花咲町五丁目六十九番地生絲會社通勤倉庫係齋藤春吉四十六年ニシテ五月廿九日「ペスト」ト診斷サレシモノナリ同家附近ニハ「ペスト」病毒ト關係アリト推測サル、營業者ナキモ近隣ニ小養鶏者ニシテ掃寄米ヲ飼料トスルモノアリ又野毛町三丁目百三十九番地古俵商上野助次郎方ト約三丁ヲ距ルノミナルモ其系統ハ不明ナリ

第十三號患者清水町四番地麥稈經木真田貿易商谷田方雇人吉田政吉十四年ニシテ多クハ境町二丁目八番地橫瀨千里方ナル主人ノ店舗ニ使役セラレシモノナリ同店ハ米穀、肥料等ノ仲繼業ニシテ谷田ハ其半部ヲ借リテ使用スルモノナリ橫瀨方ニハ落花生、豆、南京米、臺灣米、蘭貢米等ヲ店頭ニ陳列シツ、アリ且ツ其隣家ハ古麻袋及古繩、古筵等ヲ置キアリ恐ラク此等ニ附着シタルモノヨリ感染シタルモノナラン

第十四號患者西戸部町六百九番地中シツ十九年ニシテ父ハ按摩業ヲナシ母ハ看護婦ニシテ患者ハ寫真彩色ヲ内職トシ夜間ハ裁縫稽古ノ爲メ日ノ出町ヘ裁縫ニ行キ毎月五、六回前項ノ病毒アル區域内タル野毛町二丁目女髮結方ヘ行キタルヲ知レルノミニテ何レヨリ病毒ニ感染シタルヤ全ク明カナラス

第二十四號患者花咲町七丁目八十四番地船乘業山本方止宿歐洲航路船楫取濱口九左衛門三十一年ニシテ唯船舶關係者ト同居シ交通シタルヲ知レルノミ

第二十五號患者霞町一丁目三番地鳥羽茂樹長男虎雄五年ニシテ父ハ理髮ヲ業トス其向ヒニ白米商アリ本年一月以來多量ノ臺灣米ヲ仕入小賣セルモノニシテ患者ハ同家ノ小兒ト遊戲シ居レリト云フノミニテ其他ニ知ル所ナシ

第二十六號患者石川仲町五丁目百番地鈴木ツタ（五十五年）夫ハ人力車夫ニシテ本人ハ餅類ヲ行商シ多ク稅關附近ヲ徘徊シテ時々掃寄物ヲ貰ヒ來リタルコトアリト云フ

第二十八號患者戸部六丁目百八十四番地石原菊次郎四十七年ニシテ「ホテル」ノ人力車夫ナリ患家ハ一棟四戸ノ長屋ニテ患家ノ隣ニ艦船營業者アリ又船渠會社人夫アリテ船舶掃除ノ際燒却ノ名義ノ下ニ船塵ヲ持チ歸ルコトアリト云ヘハ或ハ之レ等ヨリ感染セシニ非ラサルカ

本回ノ流行ニ於テモ亦各方面ヲ通シテ最關係ヲ有スルハ米穀又ハ其包裝ニ外ナラサリシヲ知ル

### 第三項 「ペスト」鼠ト患者トノ關係

「ペスト」流行上人及鼠間ノ關係ハ既ニ往昔ヨリ認知セラレタル事項ニ屬シ今茲ニ喋々ヲ要セサルモ本縣ニ於ケル流行亦兩者間密接ノ關係ヲ有セリトノ事實ヲ例記シテ更ニ之ヲ證明スルハ流行病史上敢テ無用ノ業ニアラサルヘシ本邦ニ於テ「ペスト」流行ニ當リ鼠族ニ「ペスト」ヲ證明シ得サリシハ千葉縣浦賀村及香川縣王越村ニシテ前者ニ於テハ三十八年五月二十六日ヨリ六十七日間ニ十二名ノ患者ヲ出シ後者ニ於テハ同年五月二十七日ヨリ十九日間ニ三十名ノ患者ヲ出シタルニ孰レモ一ノ「ペスト」鼠ヲモ發見セサリシ之レニ反シテ其他ノ流行地ニ於テハ何レモ患者發生ニ先チ或ハ之ト共ニ若クハ其以後ニ至リテ「ペスト」鼠ヲ證明セリ橫濱市ハ第一回流行ニ於テ患者ト共ニ「ペスト」鼠ヲ發見シ患者終熄後ト雖モ尙之レヲ絶タスシテ伊勢町、戸部町、西戸部町方面ニ散發シ伊勢町ノ如キ數頭ヲ續出セシガ之レヲ精査シテ米商ヲ中心トシ近傍ニ發見セシモノナルヲ知リ

### 第一章第三項 「ペスト」鼠ト患者トノ關係

第一章第三項 「ペスト」鼠ト患者トノ關係

タリ五月ニ入り戸部町及西戸部町ニ之レヲ證明セシガ終ニ同月十二日患者ヲ發生スルニ至レリ又同月二十六日ニハ三吉町、元濱町方面ニモ患者ヲ發生セシガ同町ニテモ亦「ペスト」鼠ヲ證明セラレ九月六日松影町ニ一名ノ患者ヲ出シ同月九日同町消毒ノ際米商黒部與八方ニ多數ノ「ペスト」鼠ヲ發見シ同町附近ニテ爾來數名ノ患者ヲ出シ神奈川方面ニ於テハ患者發生後之レヲ證明シ浦島町及之レニ接續スル子安村等ニ於テモ亦「ペスト」鼠ヲ見タリ

三十六年十一月第二回流行ノ終熄後三十七年ニ入りテ尙「ペスト」鼠ヲ散見セシモ三十八年ハ全ク中絶セシガ三十九年十一月ヨリ再ビ「ペスト」鼠現ハレ十一月三頭十二月二頭四十一年一月一頭二月二頭三月ハナクシテ四月一頭五月ニハ戸部方面ニテ四頭ヲ見ルニ至リ同方面警戒中俄然五月廿三日ニ一名ノ患者ヲ出シ爾來同方面ニハ數名ノ患者ヲ發生シタリ其後同地ニ於ケル消毒其他ニテ發見又ハ捕獲シタル鼠族中數頭ノ「ペスト」鼠ヲ認メ當市ノ接續町タル保土ヶ谷町ニ於テ又南吉田町ニ於テ患者ノアル處「ペスト」鼠ノ影ヲ見サルナク同年八月患者終熄ト共ニ「ペスト」鼠亦其影ヲ隱セシモ四十一年三月以來毎月「ペスト」鼠ノ發現アリ少ナキハ一、二頭ナルモ六月ハ十二頭十一月ハ十三頭ノ多數ニ達シ翌四十二年ニ至リテ尙續々發生シ二月八頭三月十頭四月ニハ二十八頭ノ多數ニ上リ其内多キハ南太田町及野毛町方面ナリシカ同年四月三十日ニ至リテ南太田町ニ患者ヲ見ルニ至リ六月四日ニハ野毛町方面亦人體ノ侵襲ヲ蒙リ患者甲方面ニ十二名乙方面ニ四名ニ達シ其他石川仲町ハ患者發病ニ先ツ事十日「ペスト」鼠ヲ出シ青木町ニテ患者發病ト同時ニ「ペスト」鼠ヲ見タル等終始一貫影ノ形ニ從フカ如ク「ペスト」患者アル處必ス「ペスト」鼠ヲ證明セサルナシ而シテ流行ノ期間ニ於テ直接ニ患者又ハ其附近ニ「ペスト」鼠ヲ證明シ得サリシモノアリシト雖モ當時ハ諸所ニ「ペスト」鼠ヲ證明シ病毒汎ク散蔓シタル後ニ於テハ何處ニテモ感染ノ機會アルヘキハ明カナリ

本項ノ關係ヲ通覽ニ便センガ爲メ兩者ヲ各方面別トシ發見順序ニヨリ上下ニ並列シテ表示スレハ左ノ如シ

明治三十五年ニ於ケル「ペスト」鼠及患者ノ關係

署別	發見月日	發見ノ場所	發見ノ方法	鼠	患者	備考
伊勢	十月七	海岸通五丁目二〇松下回漕店倉庫	拾得	鼠	九月廿九 住 所 職業 氏名 備 考	父人夫購 佐々木シナ 賣業
伊勢	同 八	同町同番地河西忠藏	拾得	鼠	十月 四 住 所 職業 氏名 備 考	同所砂川斧三郎方 賣業 人足業 木村德次郎
伊勢	同 十九	同町同番地道路	拾得	鼠	同 五 住 所 職業 氏名 備 考	海岸通五丁目二〇東井 賣業 人足業 山口甚吉
伊勢	同 廿二	同町同番地山宮繁藏	拾得	鼠	同 十四 住 所 職業 氏名 備 考	同所吉松三男 賣業 人足業 田中寅之助
伊勢	同 廿六	同町同番地本間文藏	拾得	鼠	同 二十 住 所 職業 氏名 備 考	神奈川砲臺收容所第五 賣業 人足業 中田寅吉
伊勢	同 廿七	同町四丁目十九番地	拾得	鼠	同 廿八 住 所 職業 氏名 備 考	海岸通五丁目二〇 賣業 人足業 齋藤三吉
伊勢	同 廿八	同町五丁目二〇番地	拾得	鼠	同 廿八 住 所 職業 氏名 備 考	橋樹郡子安村子安三二 賣業 人足業 持丸彌吉
伊勢	同 三十	同町五丁目二〇番地 宇田川エツ	拾得	鼠	同 廿八 住 所 職業 氏名 備 考	橋樹郡子安村子安三二 賣業 人足業 持丸彌吉
伊勢	十一月四	同町同番地高橋友吉	拾得	鼠	同 廿八 住 所 職業 氏名 備 考	橋樹郡子安村子安三二 賣業 人足業 持丸彌吉
伊勢	十二月十九	同町同番地日本郵船會社横濱支店倉庫	拾得	鼠	同 廿八 住 所 職業 氏名 備 考	橋樹郡子安村子安三二 賣業 人足業 持丸彌吉
伊勢	十二月十九	伊勢町三丁目六九番地慶芥箱	拾得	鼠	同 廿八 住 所 職業 氏名 備 考	橋樹郡子安村子安三二 賣業 人足業 持丸彌吉
伊勢	十二月十九	野毛町三丁目二〇楠原倉吉	拾得	鼠	同 廿八 住 所 職業 氏名 備 考	橋樹郡子安村子安三二 賣業 人足業 持丸彌吉

第一章第三項 「ペスト」鼠ト患者トノ關係

明治三十六年ニ於ケル「ペスト」鼠及患者ノ關係

署別	戸部署										
	一月六	同七	同十	同十六	同十八	同十八	同廿三	同廿四	同廿四	同廿四	同廿四
發見月日	一月六	同七	同十	同十六	同十八	同十八	同廿三	同廿四	同廿四	同廿四	同廿四
發見ノ場所	戸部署買收	同	同	伊勢町三丁目七十一高野猪太郎	同町四丁目八六水島安太郎	同町三丁目七二下村小太郎	同町同番地錦織虎太郎	不明	伊勢町四丁目八八都筑成一	内田町六丁目二六遠藤要晴	伊勢町三丁目七一鈴木清助
發見ノ方法											
發見ノ職業				荒物商	白米商	煙火商	古物商	銀行員	銀行員	西洋家具製造業	白米商
發病月日											
住											
所											
職業											
氏名											
備考											

署別	戸部署										
	一月六	同七	同十	同十六	同十八	同十八	同廿三	同廿四	同廿四	同廿四	同廿四
發見月日	一月六	同七	同十	同十六	同十八	同十八	同廿三	同廿四	同廿四	同廿四	同廿四
發見ノ場所	同所小泉惣兵衛	同所下村小太郎	同所鈴木清助	同所高野猪太郎	同町四丁目八六水島安太郎	花咲町八丁目八五北原長吉	伊勢町四丁目共同磨芥箱	宮崎町紅葉坂下水	戸部町三丁目下水	同	同
發見ノ方法											
發見ノ職業						煉瓦職	白米商	荒物商	白米商		
發病月日											
住											
所											
職業											
氏名											
備考											

第一章第三項 「ペスト」鼠ト患者トノ關係

